

桐生市工場アパートの増設並びに企業用共同倉庫の新設について（継続）

桐生市工場アパートは、自己資金で新工場を建設するまでの間、工場の提供を行うことにより、中小企業の作業環境の改善や経営基盤の強化といった企業育成のための支援を目的に、平成 11 年に建設された賃貸型の工業用施設であります。

30 坪から 60 坪までの広さが用意された工場アパートは、非常に作業効率がよく、また、月額使用料も最高で 16 万円弱と大変リーズナブルな価格となっておりますが、現在の棟数は 12 であり、しかも満室となっております。

つきましては、創業者支援、そして桐生機械工業連合会が B C P 協定を締結し連携・交流連携を強めている、(一社)大田工業連合会の会員事業所の受入体制の整備にもつながることから、桐生市工場アパートの増設について強く要望いたします。

また、市内製造業者の工場内設備は非常に手狭となっていることから、材料や納品前の製品の格納庫としての共同倉庫の新設も併せて要望いたします。

【桐生市からの回答】

桐生市工場アパートについては、中小企業の育成と地域経済の発展を目的に設置され、自社では新工場等設備投資に余裕のない小規模企業者や個人に対し、比較的安価な賃料で提供し、入居企業の事業拡大を支援しております。

市といたしましては、市ホームページなどにより工場アパートの周知に努めており、現状としては新たに入居したいという要望については、聞いておりませんが、引き続き入居希望者の把握に努めながら適切に対応してまいりたいと考えております。

工場アパートの増設と企業用共同倉庫の新設につきましては、多額な建設費を要することも踏まえ、企業ニーズや「桐生市公共施設等総合管理計画」などと照らし合わせながら、十分検討する必要があるものと考えております。

【回答担当】 産業経済部産業政策課工業労政係